

I 実践

1 研究主題(目標)

- ・生徒の人権感覚や人権意識の育成
～体験活動の中での人間的なふれあいを通して平等や人権尊重を学ぶ～

(1) 主題設定の理由

本校では、望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるとともに、人間の生き方について自覚を深め、自己の能力を養うことを目標に掲げて日々教育活動に全職員で取り組んでいる。その中で、体験活動を生かした道徳教育の充実や教育活動全体を通じた人権教育の積極的な推進を行っており、これらの体験を通して生徒の人権感覚や人権意識の育成が図れると考える。

(2) 研究のねらい

研究活動全体を通して、教師と生徒の信頼を深め、誰とでも心を開いた話ができる人間関係をつくることにより、個々を尊重し、人それぞれを理解する機会を増やしていく。また、本校の伝統行事である海岸清掃や地域の一人暮らしの高齢者に花を贈る活動などを通して、学校と家庭・地域社会との連携を図る中で、幅広い人権尊重ができる生徒の育成に努める。

(3) 研究内容(努力点)

- ① 望ましい集団活動の充実に努める。
 - ・多様な体験活動を通して、自分を大切にするとともに相手の心の痛みが分かる生徒の育成
- ② 教育活動全体を通して、人権教育の推進を図る。
 - ・教育相談の充実
 - ・各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間との関連
- ③ 学校と家庭・地域との連携及び啓発を図る。
 - ・授業参観、家庭訪問、学校だより等を通しての保護者への理解・啓発
 - ・学校と家庭・地域社会との連携による人権課題の正しい理解のための啓発活動の推進

2 実践内容

(1) 学習活動

① 社会科

- 歴史・・・江戸幕府の成立と鎖国(様々な身分と暮らし)、近世の日本(兵農分離と朝鮮侵略)
- 公民・・・人間の尊重と日本国憲法において人権の歴史や様々な人権について学習を行い日本人としての必要な人権の知識を学ぶ。

② 道徳

- ・学級の実態に合わせて取り上げた資料や身近に考えさせられる題材を活用し、意見交換を通して自分の考えを深める。

③ 学級活動

- ・構成的グループエンカウンターやロールプレイングを活用して、活動しながら相手の立場を考え自分の行動を見直す機会をもつ。

(2) 生徒会活動

① 地域の一人暮らしの高齢者に花を贈る活動

ア 目的

地域に住む一人暮らしの高齢者宅を訪問し、高齢者に敬意を表するとともに、花にメッセージを添えて贈ることで、人と人との絆の大切さを学ぶ。

イ 期日

- ・平成 30 年 7 月 18 日(水)

ウ 計画



日 時	活 動 内 容	指 導 内 容
修学旅行 (3年生)	・京都から一人暮らしの高齢者に絵はがきをかき、後日花を届けに行くことを伝える。	・高齢者を思いやる文章が書けているか確認する。
総合的な学習の時間 (2時間)	事前打ち合わせ ・生徒は地区ごとに分かれる ・花を贈る高齢者の氏名、住所の確認 ・メッセージカードの作成	・相手の立ち場に立った言葉遣いなど、人権について考えさせる。 ・地区ごとにグループを作り、訪問宅を決める。 ・訪問時のマナーを確認する。
当日 (放課後)	・集会 ・担当の高齢者宅を訪問し、花を届ける。	・昇降口前に集合し、集会を行う。 ・花を渡すだけでなく、高齢者と積極的に会話するよう伝える。

エ 事後の指導

地域の高齢者と直接会話することで心の交流を図り、地域とのつながり、感謝の気持ちを深められられるようにする。

② いじめ撲滅集会

ア 目的

いじめに関する河原子中学校の現状と正しい知識を共通理解し、いじめを撲滅するためにできることを考えることで生徒一人一人のいじめ撲滅への意識を高める。

イ 期日

平成30年10月22日(金)

ウ 事前の活動



月日	活動内容	分担
9/11～9/12	いじめに関するアンケート実施・集計	生徒会役員
10/1～10/20	いじめに関する話し合い活動(道徳) 各学級発表準備 事前リハーサル	各学級 各学級 生徒会役員、学級代表者

エ 当日の活動

時間	活動内容	留意点
14:50	1 開会の言葉	・集会を行う目的等を確認する。 ・アンケートの結果を中心に河原子中の現状を説明する。 ・いじめの定義を確認する。 ・話し合い活動を行ってまとめた提案内容を各学級の代表者が発表する。
14:52	2 生徒会役員の説明	
15:00	3 各学級の発表 (各クラス3分以内)	
15:20	4 小グループでの意見交換	・事前に決めた小グループをつくり、事前に決められた課題について意見交換を行う。 ・話し合った感想や出た意見を発表する。 ・生徒会役員で撲滅宣言を全体に提示して唱和する。
15:35	5 いじめ撲滅宣言	
15:40	6 生徒指導担当教諭の話	
15:45	7 閉会の言葉	・いじめ防止に向けてお話をいただく。

3 成果

- ・地域と密着した継続的な生徒会活動により、お年寄りと交流して心のつながりを感じることができた。世代の違う相手との交流を通して、自然に思いやりや感謝の気持ちをもって接することができた。
- ・いじめ撲滅集会を通して、改めていじめが絶対にしてはいけないことであるということ、友達に対して優しい気持ちで接することの大切さについて再確認する機会となった。
- ・毎日の生活の中で、困っている友達を自然と助けようとする場面が多くみられるようになった。

II 今後の課題

教育活動全体を通して、生徒たちが人権感覚や人権意識を育成できるような取組を実践してきた。生徒たちは、年々人権意識は高まってきているが、実際の生活の場面では、偏見からくるトラブルの発生が未だにみられる。生徒だけでなく、教員の人権に対する認識の共通理解を進め、教育活動全体にそれらを反映させることで、生徒の理解と実践力を高めていきたい。

III 人権コーナー設置の様子

人権コーナーを設置することで、生徒たちが人権について意識的に学ぼうとする機会を作っている。各学年の目標や活動の写真を掲示し、自分達が学んだり考えたりしたことについて振り返ることで、生徒一人一人の人権意識の育成につながっている。

